

無公害

銅及び銅合金のサビとクモリ
ステンレス、アルミの溶接スケール
クロームメッキ面のサビとり
ガンコな油汚れなどに

アイサン

メタクリーン

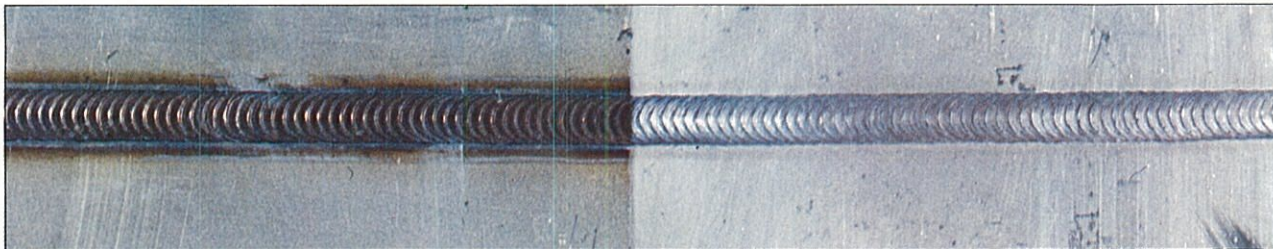


メタクリーンの脱錆技術はステンレスの鏡面を曇らせずガスや臭気を出さずクリーム状で作業性に優れた理想的な溶接スケール除去剤メタクリーンの開発に成功しました。
従来のスケール除去法は、強酸の混合液や危険

な弗酸等でガスの発生や危険性は不可避のこととして強引な除去を行って来ました。
メタクリーンは少量の酸に各種の薬剤及研磨剤を組合せ、これ等の相乗効果に依って安全にスケールを除去するプロセスを完成しました。



愛知産業株式会社



メタクリン使用後の面

〔特長〕

- ①ガスや臭気を一切出さぬので屋内での作業は勿論タンク内部やパイプ等の作業に於ても作業者に危険がなく容易に作業が出来ます。
- ②ステンレスの鏡面を曇らせることがないので作業性と仕上がりに卓越しております。
- ③弗酸やクロム酸等を含んでいないので作業者の健康を害せず皮膚障害などの危険もありません。
- ④クリーム状の1液型で流れ落ちず立体面や天井等も容易に塗布が出来ます。
- ⑤溶接スケールの除去と同時に脱錆効果もあります。
※メタクリンは硫酸5%をベースとし其の他多数の無毒の薬剤群に依る相乗効果で著効を發揮します。

〔ご注意〕

- ①ステンレスが高温の時は塗布せず常温になってから作業して下さい。表面を曇らせます。
- ②塗布後、長時間放置するとSUS,304でも表面を曇らせるので1時間以上放置しないで下さい。
- ③作業はなるべく、ゴム手袋をはめて下さい。又天井などの高所の塗布時は眼鏡をかけて下さい。(万一眼に入った時は充分水で洗って下さい)

無公害証明

分証第 52-1468 号																									
分析証明書																									
依頼者	ブルタリサーチ株式会社																								
依頼品名	ブルタ・メタライト(アイサン・メタクリン)																								
分析成績																									
<table border="1"> <tr> <td>溶出試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アルキル水銀化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>水銀又はその化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>カドミウム又はその化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>鉛又はその化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>有機リン化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>六価クロム化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>ヒ素又はその化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>シアン化合物</td> <td>検出せず</td> </tr> <tr> <td>ふっ素(%)</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>硝酸性窒素(%)</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>塩素(%)</td> <td>0.00%</td> </tr> </table>		溶出試験		アルキル水銀化合物	検出せず	水銀又はその化合物	検出せず	カドミウム又はその化合物	検出せず	鉛又はその化合物	検出せず	有機リン化合物	検出せず	六価クロム化合物	検出せず	ヒ素又はその化合物	検出せず	シアン化合物	検出せず	ふっ素(%)	0.00%	硝酸性窒素(%)	0.00%	塩素(%)	0.00%
溶出試験																									
アルキル水銀化合物	検出せず																								
水銀又はその化合物	検出せず																								
カドミウム又はその化合物	検出せず																								
鉛又はその化合物	検出せず																								
有機リン化合物	検出せず																								
六価クロム化合物	検出せず																								
ヒ素又はその化合物	検出せず																								
シアン化合物	検出せず																								
ふっ素(%)	0.00%																								
硝酸性窒素(%)	0.00%																								
塩素(%)	0.00%																								
上記溶出試験は、標準法第5号による																									
分析者 神山 伸司																									
<p>以上は依頼者より本協会に提出された依頼品について施行した分析の結果であることを証明する。</p> <p>昭和52年9月27日</p> <p style="text-align: right;">財団法人 日本肥糧検査協会</p>																									

〔使用法〕

メタクリンのスケール除去プロセスは先ず薬剤群に依ってスケールを溶解し、次に混入してある研磨剤で除去と研磨を同時に行う新しいプロセスです。

●SUS,304(18-8ステンレス)の除去法

SUS,304では鏡面仕上げもヘヤーライン仕上げも表面を曇らせませんので、次の方法で仕上げして下さい。

- ①軟かいスポンジカ布を少量の水でしめしメタクリンをつけてスケールの上をこすって下さい。
- ②がんこなスケールはメタクリンをブラシカ刷毛で予めスケール上に塗布し3~10分程放置して後、軟かいスポンジカ布で、こすり落して下さい。
- ③ダル仕上げのものは塗布後3~10分してワイヤブラシカ堅いスポンジでこすり落して下さい。
- ④狭い個所で手の入らぬ所は布を巻きつけた棒でこすって下さい。
※スケール除去後は水洗するか濡らした布で拭き取って下さい。

●SUS,430(ニッケルを含まぬステンレス)等の除去法

ニッケルを含まぬステンレスは溶接直後の表面に塗布すると数分間で曇らせるので次の方法で仕上げして下さい。

- ①軟かいスポンジカ布を少量の水でしめし、メタクリンの適量をつけてスケールの上をなるべく短時間にこすって除去して下さい。
※除去が出来次第逐次濡れた布で薬品を拭き取って下さい。拭き取りが遅く薬品が表面に残ると曇らせるので御注意下さい。

愛知産業株式会社
 本社 〒140-0011 東京都品川区東大井2丁目6番8号
 TEL(03)6800-1122 FAX(03)6800-2066
 神戸営業所☎(078)857-3013 広島営業所☎(082)220-1740
 名古屋営業所☎(052)732-2531

代理店